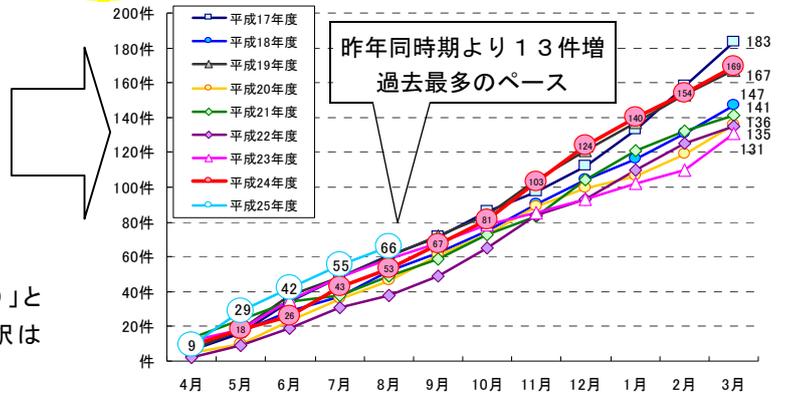


第三者損害事故が昨年同時期に比べ大幅に増えています！

工事事故発生件数

●平成25年4～8月の事故発生件数は66件で、昨年同時期(53件)を大幅に上回っています。



事故分類別工事等事故件数

(カッコ内は昨年同時期件数)

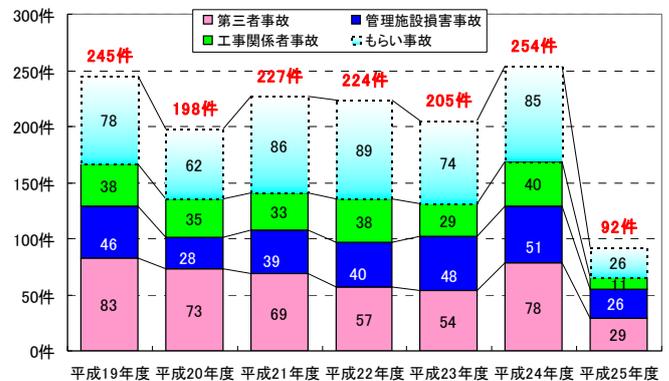
●事故分類別で見ると「管理施設事故26件(19件)」と「第三者事故29件(19件)」が増加しており、内訳は

- 第三者人身事故 3件 (4件)
- 第三者物損事故 26件 (15件) となっています。

●さらに第三者物損事故26件の内訳を見ると、

- 一般車両の損傷 10件
- 地下埋設物の破損 6件
- 架空線の損傷 5件
- 敷設ケーブルの損傷 1件
- その他第三者損害 4件 となっています。

一般車両損傷の原因で最も多いのは交通事故6件ですが、他の原因としては「除草作業中の飛石」、「塗装作業中の塗料の飛散」、「万能堀の支柱が倒れ駐車車両に接触」といった原因で事故が発生しています。



携帯に気を取られダンプの荷台を上げたまま走行→架空線切断

【事故概要】

ダンプ運転手が、荷下ろし後携帯を気にしながら走行していたため、荷台が上がっていることに気付かず場外に出ようとした際、荷台が架空線に引っかかり切断した。

■被害の程度■

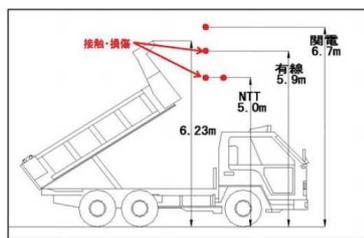
- ・NTT光ケーブル切断
- ・地区内有線放送ケーブル切断

〔事故原因〕

ダンプ運転手が携帯に気を取られ荷台を下げるのを忘れていたため

〈再発防止策〉

- 運転中の携帯電話使用禁止、○高さ制限ゲートの設置



交通ルールを遵守するよう教育の徹底を！

今回の事故は現場内で起きた事故ですが、道路を走行中も携帯の操作を行っていたという目撃情報は発注者にも寄せられます。各現場とも、携帯に限らず交通ルールを守るよう今一度、指導の徹底をお願いします。



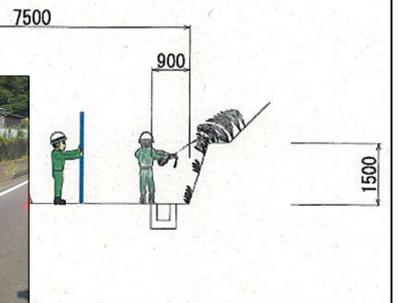
草刈り時における飛石、敷設ケーブル切断事故が多発しています！

①草刈機（肩掛式）で高所の草を刈ろうとして飛石事故が発生

右図は、作業者が頭上の高さにある草を刈ろうとして石が飛び、通行中の車のガラスに当たったものです。肩掛式の草刈機は使用方法を守らないと今回のように飛石や作業員のケガにつながる可能性が高いため、取り扱いには十分注意しましょう。

■被害の程度■

- ・軽乗用車の窓ガラス破損 →→



②トンネル坑口近くで除草作業中、トンネル調光装置のケーブルを切断

右の写真は、トンネル坑口付近のフェンスの除草作業を人力（鎌）で行っていた際に、トンネル調光装置のケーブルを切断した事故です。作業前に支障物件の調査を行っていなかったことが事故の原因であるため、作業前には支障物件の調査を行い、ケーブルや障害物について確認して目印をつけておく必要があります。

■被害の程度■

- ・トンネル調光装置の電源切断によりトンネル照明の夜間減光が不能となった



農道の拡幅工事中に突然、既設の擁壁が倒れ作業員に接触！

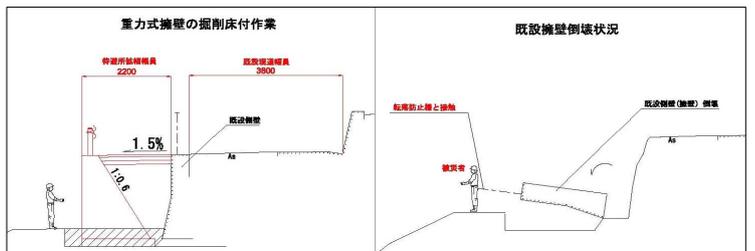
【事故概要】

農道を工事用道路として利用するため一部拡幅（待避所設置）する工事をしていた。

工事は、現道の外側に新たに重力式擁壁を設置する計画で、床堀を行っていたところ突然擁壁が転倒。近くにいた作業員に当たり、左骨盤骨折（全治6週間）のケガを負った。

転倒した擁壁は、高さ2.4m、天端幅0.5mの不安定な構造物だったが、当該箇所の農道の構造について情報が無かったため、既設擁壁は重量式またはL型擁壁であるとの想定のもとに作業を進め、今回の事故が発生した。

〈再発防止策〉○既設擁壁について事前に調査を行い構造を確認しておく。



ボーリングマシンのインナーロッドに固定したスパナと本体で手を挟む！

【事故概要】

ルートパイル工法を施工中、ボーリングマシンのインナーロッドを取り外すためにセットしたスパナが緩んでいることに気付いた作業員が、スパナをセットしなおそうと手を出したところ、ボーリングマシンオペが作業員の動きに気付かずロッドを回転させたため作業員はスパナと本体で手を挟んだ。

■被害の程度■

- ・左手中指・薬指の裂傷（全治2週間）

【事故原因】

作業員がスパナをなおす際、ボーリングマシンオペに声をかけていなかったために起きた事故である。

〈再発防止策〉

- 共同作業員に対して口頭、手振りで明確に伝える。

